

製品名: Vav1 (リン酸化 Tyr174) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05614**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	98kDa

抗原情報

遺伝子名	VAV1
別名	VAV1; VAV; Proto-oncogene vav
遺伝子 ID	7409.0
SwissProt ID	P15498
免疫原	抗血清は、ヒト VAV1 の Tyr174 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

背景

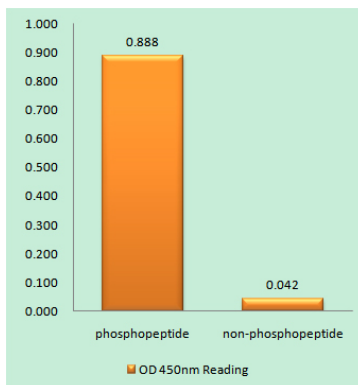
この遺伝子は VAV 遺伝子ファミリーのメンバーです。VAV タンパク質は、アクチン細胞骨格の再編成および転写変化につながる経路

を活性化する Rho ファミリー GTPase のグアニンヌクレオチド交換因子 (GEF) です。コードされているタンパク質は造血において重要であり、T 細胞および B 細胞の発生と活性化に関与しています。コードされているタンパク質は、HIV-1 由来の Nef タンパク質の特異的結合パートナーとして同定されています。これらのパートナーの共発現および結合は、顕著な形態変化、細胞骨格の再編成、および JNK/SAPK シグナル伝達カスケードを引き起こし、ウイルスの転写および複製レベルの増加につながります。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。 [RefSeq 提供、2012 年 4 月], ドメイン:DH ドメインは CCPG1 との相互作用に関与しています。機能:チロシンキナーゼシグナルを Rho/Rac GTPase の活性化と結合させ、細胞の分化や増殖を引き起こします。その他:「Vav」はヘブライ語アルファベットの 6 番目の文字を表します。PTM:チロシン残基がリン酸化されています。類似性:1 つの CH (カルボニン相同) ドメインを含みます。類似性:1 つの DH (DBL 相同) ドメインを含みます。類似性:1 つの PH ドメインを含みます。類似性:1 つのホルポールエステル/DAG 型ジンクフィンガーを含みます。類似性:1 つの SH2 ドメインを含みます。類似性:2 つの SH3 ドメインを含みます。サブユニット:CCPG1 と相互作用する可能性があります (類似性による)。APS、DOCK2、GRB2、GRB3、DOCK2、SLA、ZNF655/VIK と相互作用する。SIAH2 とは相互作用するが、分解には至らない。BLNK、PLCG1、GRB2、NCK1 とは B 細胞抗原受容体依存的に会合する。CBLB と相互作用し、チロシンリン酸化を阻害し、活性をダウンレギュレーションする。SHB および CLNK と相互作用する。組織特異性:造血細胞で広く発現するが、他の細胞種では発現しない。、

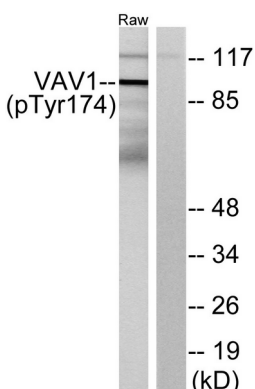
研究分野

ケモカイン; 接着斑; ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害; T 細胞受容体; B 細胞抗原; Fc イプシロン R; Fc ガンマ R を介した貪食; 白血球の内皮透過移動; アクチンと細胞骨格の調節;

画像データ



VAV1 (リン酸化 Tyr174) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



RAW264.7 細胞ライセートの VAV1 (リン酸化 Tyr174) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンにはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。

